

何 歳になってもティアラの似合う女性でいたい。そんな願いを込めて名付けられた“ティアラM”。昨年12月5日、南通り商店街（ハミングロード）の菊地時計店跡にオープンした「ティアラM」は、1階がピザハウスで、2階はエステサロンとなっている。「最初は1階を待合室にして、2階でエステサロンをやろうと思っていたのですが、白糠でエステサロンだけで経営していくのは難しいだろうな、と。それで1階ではピザを販売しようと思いました」。

そう話すのは佐藤正子さん。ティアラMのMは、自身の名前の頭文字から取った。

「自分でお店を出すのが夢だったんです。お店の名前には「M」を付けようと決めていました」。

どうしてこの場所で開業することにしたのだろうか。

「商店街の店も訪れる人も減っていると感じて、少しでも商店街活性化の力になればと思いました」

昔からエステと調理が好きだったという正子さん。もっと身近に“安いエステサロンがあればいい

のに” “安いピザが食べられるお店があったらいいのに”という自身の思いを形にした。エステサロンのコースは4種類あり、高いコースでも5千円と低価格になっている。「本音を言うと、ほとんど儲けはないです」と苦笑い。

今は新型コロナウイルスの影響で、どこの飲食店もエステサロンも厳しい経営状況にある。ティアラMでは、エステサロンよりもピザをテイクアウト（持ち帰り）するお客さんの方が多くなっている。「新型コロナウイルスで、お客さんが減るのはしょうがないですよ。今は、夏に向けてかき氷やドリンクが販売できればいいなど考えています」と微笑む。

どんな状況でも笑顔を決やらず、前向きに取り組んでいる。

「この建物の持ち主の菊地さんがオープン後、すぐ店に来てくねまして『内装は変わっても、建物がそのまま残っていくことがうれしい』と言って、花束をくれました。すごくうれしかったし、頑張ろうという気持ちになりました」。

正子さんは、応援してくれる人や支えてくれる人がいると思うと力になるという。

「お客さんからは『おいしかったよ』と言ってもらえるのが、一番うれしいですね。だから、本当はどうなの？という事は考えないようにしています（笑）」。

ティアラMの一番の魅力は、笑顔で明るい正子さんの人柄にあるのかもしれない。訪れる人も笑顔になれる場所がここにある。

佐藤正子

さとう まさこ

1963年12月22日生まれ。趣味はフラワーアレンジメントとアンティーク集め。ティアラMの店内には、多くのアンティークが並んでいる。



「少しでも商店街の活性化になれば」



ティアラM（☎6-0606）は、水曜日と金曜日の週2日間の営業。11時から18時までがピザ店で、18時30分からエステサロン（完全予約制）となっています。